

平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 興研株式会社

コード番号 7963 URL <http://www.koken-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村川 勉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 長坂 利明

TEL 03-5276-1911

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	3,515	—	139	—	103	—	29	—
25年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 33百万円 (—%) 25年12月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	5.93	—	5.87	—
25年12月期第2四半期	—	—	—	—

(注) 平成26年12月期第1四半期会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年12月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
26年12月期第2四半期	15,293	—	8,602	—	56.0	—	1,691.88	
25年12月期	—	—	—	—	—	—	—	

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 8,558百万円 25年12月期 1百万円

(注) 平成26年12月期第1四半期会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年12月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年12月期	—	0.00	—	25.00	25.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	7,700	—	430	—	360	—	170	—	33.67	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年12月期第1四半期会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期の対前年同四半期増減率については記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	5,104,003 株	25年12月期	5,104,003 株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	45,247 株	25年12月期	55,247 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	5,053,360 株	25年12月期2Q	5,060,904 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましてはP2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
(1) 個別経営成績	9
(2) 品種別売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年1月～6月)におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の持ち直し、そして雇用情勢や所得環境にも改善が見られるなど緩やかな回復基調で推移しました。

このような経済環境のもと、当社グループは対処すべき課題と捉える「クリーン事業の確立(KOACHテイクオフの実現)」及び「マスク関連事業の強化」等の取り組みを行った結果、売上高は35億15百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益1億39百万円、経常利益1億3百万円、四半期純利益29百万円となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

(マスク関連事業)

災害対策用マスクの備蓄が一巡したことで、原子力発電所及び官公庁向けの需要は昨年比で減少しました。その一方で国内景気の回復にともなう民間製造業のマスク需要は増加傾向にあり、消費税増税前の駆け込み需要も一部商品で発生しましたが、第2四半期連結会計期間に入ってから目立った落ち込みもなく受注は堅調に推移しました。

また、感染症対策用マスクは全国の保健所での採用率が7割となるなど、医療分野におけるシェア拡大が進んでいます。

これらの結果、当事業の売上高は31億22百万円となりました。

(その他事業/環境関連事業等を含む)

オープンクリーンシステム「KOACH」につきましては、宇宙航空研究開発機構JAXA様や京都大学iPS細胞研究所様など最先端の研究機関での採用に加え、民間製造業への納入も増加しております。なお、6月末現在の「KOACH」の物件情報数は1,000件を超え、今後の受注増が期待されます。

こうした「KOACH」事業の進展などにより、当事業の売上高は3億92百万円となりました。

昨年発売のスリープモード付きオープンクリーンシステムKOACH「フローコーチEx p・Ez p」が、第44回(2014年)機械工業デザイン賞の最優秀賞(経済産業大臣賞)を受賞いたしました。「独創的な技術開発成果を基盤としてデザインによる企業独自のバランス解を創出している」と評されての今回の受賞は、「KOACH」事業の確立促進に大きく寄与するものと思われま

なお、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期との比較分析は行っておりません。そのため、親会社個別の業績及び対前年増減率をP9の「4. 補足情報 (1) 個別経営成績」に記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は152億93百万円となりました。主な内訳は、受取手形及び売掛金27億53百万円、有形固定資産75億58百万円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、66億91百万円となりました。主な内訳は、短期借入金20億円、長期借入金21億41百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、86億2百万円となりました。主な内訳は、利益剰余金74億16百万円であります。

なお、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前連結会計年度との比較分析は行っておりません。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、21億43百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は6億3百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が1億円となったことと、売上債権の減少額6億24百万円及びたな卸資産の増加額2億円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3億42百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3億60百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億72百万円となりました。これは主に、配当金の支払額1億25百万円を行ったことによるものです。

なお、第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の連結業績予想につきましては、平成26年2月12日に公表いたしました予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結累計期間より、子会社SIAM KOKEN LTD.の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,143,723
受取手形及び売掛金	2,753,195
商品及び製品	441,052
仕掛品	502,387
原材料及び貯蔵品	396,251
繰延税金資産	172,991
その他	74,831
貸倒引当金	△3,000
流動資産合計	6,481,433
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	1,481,169
機械及び装置(純額)	769,853
土地	4,809,351
その他(純額)	498,581
有形固定資産合計	7,558,956
無形固定資産	73,529
投資その他の資産	
繰延税金資産	176,064
保険積立金	830,986
その他	176,596
貸倒引当金	△4,000
投資その他の資産合計	1,179,647
固定資産合計	8,812,132
資産合計	15,293,566
負債の部	
流動負債	
買掛金	190,781
短期借入金	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,137,800
賞与引当金	89,000
役員賞与引当金	6,000
未払法人税等	20,332
その他	558,685
流動負債合計	4,002,599
固定負債	
長期借入金	2,141,500
役員退職慰労引当金	493,900
その他	53,403
固定負債合計	2,688,803
負債合計	6,691,402

(単位:千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成26年6月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	674,265
資本剰余金	527,936
利益剰余金	7,416,704
自己株式	△74,612
株主資本合計	8,544,294
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	12,850
為替換算調整勘定	1,648
その他の包括利益累計額合計	14,499
新株予約権	43,370
純資産合計	8,602,163
負債純資産合計	15,293,566

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	3,515,614
売上原価	1,907,158
売上総利益	1,608,455
販売費及び一般管理費	1,469,441
営業利益	139,014
営業外収益	
受取手数料	4,433
その他	8,583
営業外収益合計	13,017
営業外費用	
支払利息	28,736
その他	19,590
営業外費用合計	48,327
経常利益	103,704
特別損失	
固定資産除却損	3,028
特別損失合計	3,028
税金等調整前四半期純利益	100,675
法人税、住民税及び事業税	14,000
法人税等調整額	56,708
法人税等合計	70,708
少数株主損益調整前四半期純利益	29,966
四半期純利益	29,966

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	29,966
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	2,614
為替換算調整勘定	1,004
その他の包括利益合計	3,619
四半期包括利益	33,586
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	33,586
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	100,675
減価償却費	244,068
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,000
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	17,400
賞与引当金の増減額(△は減少)	△82,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,150
受取利息	△257
受取配当金	△1,923
支払利息	28,736
固定資産除却損	3,028
売上債権の増減額(△は増加)	624,993
たな卸資産の増減額(△は増加)	△200,577
仕入債務の増減額(△は減少)	46,010
その他	△49,853
小計	715,151
利息及び配当金の受取額	2,180
利息の支払額	△29,335
法人税等の支払額	△84,480
営業活動によるキャッシュ・フロー	603,515
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△360,535
有形固定資産の売却による収入	20,272
その他	△1,976
投資活動によるキャッシュ・フロー	△342,239
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	600,000
長期借入金の返済による支出	△613,400
配当金の支払額	△125,951
その他	△33,172
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172,523
現金及び現金同等物に係る換算差額	△137
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	88,614
現金及び現金同等物の期首残高	1,652,808
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	402,300
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,143,723

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告 セグメント	その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	マスク 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,122,719	392,894	3,515,614	-	3,515,614
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,122,719	392,894	3,515,614	-	3,515,614
セグメント利益又は損失(△)	1,483,847	124,608	1,608,455	△1,469,441	139,014

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,469,441千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

補足情報につきましては、子会社による販売がないため、親会社のみの数値を記載しております。

(1) 個別経営成績

(千円未満切捨て)

区分	前第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)	増減率 (△は減)
	金額	金額	
売上高	3,468,698	3,515,614	1.4%
営業利益	173,434	147,006	△15.2%
経常利益	146,691	111,584	△23.9%
四半期純利益	63,141	37,846	△40.1%

(2) 品種別売上高

(千円未満切捨て)

区分	前第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)		比較増減 (△は減)
	金額	比率	金額	比率	
	千円	%	千円	%	千円
防じんマスク	1,788,084	51.6	1,914,392	54.4	126,308
防毒マスク	888,393	25.6	761,695	21.7	△126,698
防じんマスク・防毒マスク 関連その他製品	478,380	13.8	446,631	12.7	△31,749
小計	3,154,858	91.0	3,122,719	88.8	△32,138
その他	313,840	9.0	392,894	11.2	79,054
合計	3,468,698	100.0	3,515,614	100.0	46,915
(上記のうち輸出分)	(99,302)	(2.9)	(78,984)	(2.2)	(△20,317)